



ひなどり

園だより 9月号

令和2年8月28日

新潟市立新津第三幼稚園



たくさんの人と関わり、社会性を育む

園長 間嶋 哲

2学期が始まりました。夏休みをどのように過ごされたでしょうか。昨年度まで8月いっぱい夏休みとしていましたが、ほとんどの小学校で8月下旬には学校が再開している現状を踏まえ、今年度から（コロナ禍でなかったとしても）当園も8月28日からのスタートとしました。

夏休み前。第三小学校の昼休みの時間。さくら組のテラスにはシャボン玉で遊ぶ子どもたちと、それを取り巻く小学生の姿がありました。小学校のボランティア委員会で定期的に行っている読み聞かせなどとは違い、自然発生的に関わり合っている姿なのです。わくわくふれあいタイムの時間を、原則、小学校の中休みの時間（10：00からの20分間）に合わせているのも、将来的には、このような自然な交流の姿を求めているからに他なりません。

ところで、7月の中旬、皆さんからアンケートをとらせていただきました。その自由記述の欄には、次のような記述がありました。一部のみ引用させていただきます。

- ・「弟の面倒をよくみてくれるようになった。園でお兄さんやお姉さん達にしてもらったことを、弟にしているのだろうなあと思った。」（年少組）
- ・「いろいろな先生やお友達の名前を教えてくれて、たくさんの人と関わることができているのだなあと思いました。」（年少組）
- ・「わくわくふれあいタイムで年長・年少さんと交流することができ、年長さんのように自分もなりたい気持ちが出てきました。園のブログで子どもたちの様子を見ることができて嬉しいです。」（年中組）
- ・「幼稚園に行くのをすごく喜んでます。わくわくタイムやシャッフルタイムも、すごく楽しいと言っていました。」（年長組）

子どもの世界は、私たち大人の世界とは随分と違います。年齢が1つ上か下かによって相手との距離感や思いも、また当然変わります。自分以外の70名（理論的には小学校も入れると900名）と自然に関わり、年上の言動を見たり聞いたりしながら学ぶ、または年下の面倒をみながら人に対する思いやりの感情を育むという人間教育ができていると自負しています。

まだまだ新型コロナに関する全国的な収束はしていませんが、少しずつ日常の園生活が戻りつつあります。毎月の誕生会については、今後、例年のように全員が遊戯室に集まって行います。8日には白根グレープガーデンへの全校遠足、26日には運動会があります。どちらも例年と比べると規模をやや縮小したものとなりますが、今からとても楽しみです。

